

「UNWOMEN実施事業：アズラック難民キャンプ女性支援センター開所式典」

2018年2月13日、アズラック難民キャンプにおいてUNWOMENによりキャンプ内建設された女性支援センター「オアシス」の開所式典が、柳大使、ブラウジ・イタリア大使、アーミテージ・オーストラリア大使、ラッシッラ・フィンランド大使、ベルトロッティ・フランスの大使、シェイクUNWOMEN代表、カイス・シリア難民支援局アズラック難民キャンプ長の立ち会いの下、開催されました。

オアシスは、脆弱な立場にあるシリア難民女性に対する包括的な支援を提供することを目的としたセンターで、今後、労働の対価としての現金支給（Wash for Work）、性暴力の被害者の保護、女性にエンパワメントを目的とした各種トレーニング等が実施されます。

日本は、UNWOMENが実施するヨルダン、エジプト、イラクを対象としたプロジェクト（危機対応下の女性のリーダーシップ、エンパワメント、アクセス及び保護）に対して3百万ドルを提供しており、日本の支援によって、オアシスの活動が支えられています。

テープカットの様子



託児スペース



コンピュータ教室



縫製教室

